

いずも市議会だより



「新しい教科書」鰐淵小学校にて

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ●議会の動き ……………2 | ●一般質問 ……………12 |
| ●委員会報告 ……………3 | ●採決の結果 ……………20 |
| ●請願・陳情・意見書 ……………7 | ●議会活動・編集後記 ……………24 |
| ●施政方針質問 ……………8 | |

いずも市議会だより 第24号
 発行日／平成23年(2011) 5月20日
 編集／広報委員会 発行／出雲市議会
 〒693-8530 出雲市今市町70
 TEL21-6579 FAX21-6251

平成22年度 第5回 出雲市議会(定例会)

開会 平成23年(2011)2月21日(月) 閉会 平成23年(2011)3月23日(水)

会期31日間

2月21日(月)	本会議(開会、施政方針表明、議案上程・説明)	3月10日(木)	文教厚生委員会
23日(水)	本会議(会派代表質問・1日目)	11日(金)	環境経済委員会
24日(木)	本会議(会派代表質問・2日目)	14日(月)	建設水道委員会
3月 3日(木)	本会議(一般質問・1日目)	15日(火)	予算特別委員会
4日(金)	本会議(一般質問・2日目)	16日(水)	予算特別委員会
7日(月)	本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)	17日(木)	予算特別委員会
9日(水)	総務委員会	18日(金)	予算特別委員会
		23日(水)	本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

3月定例市議会 報告

平成23年度(2011)出雲市一般会計予算を可決するなど、66議案を議決しました。

議会の動き

3月定例市議会では、執行部から65件の議案が提案されました。その内容は、「平成23年度(2011)出雲市一般会計予算」などの予算案31件、「出雲市レンタサイクルの設置及び管理に関する条例」などの条例案22件、「工事請負契約の締結について」などの議案8件、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」などの人事案4件が提案され、65議案を原案のとおり可決、または同意しました。

議員提出議案は、「子ども手当の地方負担撤廃を求める意見書」を可決しました。

平成22年度 第4回出雲市議会(臨時会)

平成23年(2011)1月31日(月)

本会議(開会、議案上程・説明、議案質疑、委員会付託、予算特別委員会、委員長報告、討論、採決、閉会)

1月臨時市議会 報告

緊急総合経済対策などの補正予算を可決しました。

一般会計12億8,100万円を増額補正

1月臨時市議会では、執行部から平成22年度(2010)出雲市一般会計第7回補正予算が提案され、可決しました。

この補正予算は、国の緊急総合経済対策の事業及び国の地域活性化交付金を活用した事業のほか、昨年末からの降雪の対策経費を中心に補正するものでした。



常任委員会報告

防災行政無線デジタル化へ

総務委員会

審査の付託を受けた案件は、条例七件、その他議案二件、請願一件です。主なものとして議第一四四号「出雲市特別会計条例の一部を改正する条例」は、平成二十年四月一日の後期高齢者医療制度の創設に伴い、老人保健制度が廃止され、その特別会計を存続する経過措置が、平成二十二年度末で満了するため、条例を改正するものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。なお、一部の委員からは否決すべきとの意見がありました。議第一六三号「出雲市防災行政無線施設の設置及び管

理に関する条例」は、順次既存の機器がアナログ式に変わり、エリアを拡大してデジタル式に運用開始するため、新たに条例を制定するものです。内容審査の結果、可決しました。なお、一部の委員から、加入料の徴収は住民に負担をかけるとの理由で、否決すべきとの意見がありました。

請願第十号「国税通則法の改悪反対、納税者の権利確立を求める」との意見書採択を求める請願」は、提案者から説明を聞き、慎重に審査した結果、不採択と決定しました。

地方公営企業法を全部適用する総合医療センター

文教厚生委員会

審査の付託を受けた案件は、議案六件、請願一件です。主なものとして議第一四七号「出雲市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」は、これまで病院事業は財務規定にのみ地方公営企業法を適用していましたが、病院事業管理者を設置し権限と責任を明確にして、病

院事業の健全化を図るため、組織や職員などの規定に同法をすべて適用することについて条例改正を行うものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。

議第一六四号「出雲市保健センターの設置及び管理に関する条例」は、これまでの出雲市健康文化セン

ターを、保健福祉に特化した保健センター単独の施設とすることに伴い、新たに条例を制定するものです。

審査の結果、原案のとおり可決しました。

松くい虫対策について

充分な検討・検証を

環境経済委員会

審査の付託を受けた案件は、条例案五件及びその他議案二件、請願二件、陳情一件の合計十件です。条例案とその他議案は、すべて可決しました。

請願第十一号「松くい虫防除のための空中散布再開の請願」と請願第十二号「北山山系（弥山山地）における松枯れ・斜面防災にかかわる請願」は、趣旨採択、陳情第十号「浜山の松枯れ防除対策早期実施についての陳情」は採択しました。

審査の中で、松くい虫による松枯れ対策が必要であり、その解決について非常に苦慮する課題であることは、各委員認めるところでした。その解決方法、あるいは空中散布による健康被害については、充分な検証が必要であるとする意見や松枯れによる土砂災害の危険性については、別の方法で必要な対策をとるべきなどの意見がありました。執行部へ、充分に検討・検証し、必要な対策をとることを要望しました。



浜山の松保全について説明を受ける環境経済委員

「新内藤川・午頭川改修計画の抜本的見直しについての陳情」を継続審査に

建設水道委員会

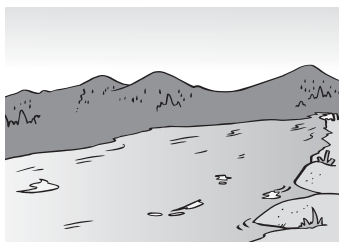
議第一五二号「出雲市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」は、審査の結果、原案のとおり可決しました。なお、一部の委員から経営理念を持つて、しっかりとした空き家解消対策に取り組むべきとの意見がありました。

陳情第九号「新内藤川・午頭川改

修計画の抜本的見直しについての陳情」は、斐伊川放水路から神戸川に分流が行われた場合、長浜地区において浸水被害が心配されることから、神戸川内にある導流堤の嵩上げをはじめ、新内藤川・午頭川改修計画を抜本的に見直すよう国土交通省及び県に働きかけを求めるものです。

現地視察を行い、陳情者から説明を受け慎重に審査をした結果、斐伊川放水路から分水された場合の長浜地区への影響などについて、具体的な資料が乏しく、関係機関の詳しい調査が必要との判断から、継続審査と決定しました。また、その他の議案については、すべて原案のとおり可決しました。

新内藤川で説明を受ける建設水道委員



特別委員会報告

予算特別委員会報告

予算特別委員会

各会派からの委員十五名で構成される、予算特別委員会を新たに設置し、すべての予算を集中審査しました。審査した案件は、一般会計、特別会計、企業会計のそれぞれ平成二十二年度補正予算及び平成二十三年度当初予算あわせて三十件です。

三月十五日から四日間、委員会を開催し、初日に長岡市長に対して予算全体についていただきました。

まず、「平成二十三年度出雲市一般会計予算」は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ六百五十三億三千五百万円と定めるものです。各委員から活発な質疑や意見がありました。総務費は総額五十九億円余で、新規事業として、外部監査費七百万円、合併関連経費など五億八千万円余などです。

民生費は、総額百九十四億円余で、介護保険施設整備事業四億円余、障がい者自立支援サービス給付事業二十億三千万円余などです。衛生費は、総額五十一億六千万円余で、感染症対策事業費（子宮頸がん予防、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなど）などです。

農林水産業費は、総額三十一億九千万円余で、松くい虫対策事業二億二千万円などです。

商工費は、総額十二億千万円余で、観光施設整備事業五千二百三十万円などです。

土木費は、総額六十七億二千万円余で、地方道改修事業八億六千二百十万円などです。

消防費は、総額二十億六千万円余で、防災情報伝達システムや消防自動車など更新事業五千四百三十五万円などです。

教育費は、総額七十三億八千万円余で、向陽中学校整備事業六億円などです。

一部の委員から否決にすべきとの意見がありましたが賛成多数で、原案どおり可決しました。

「平成二十三年度出雲市下水道事業特別会計予算」は、歳入歳出予算の総額を五十六億九百万円とするもので、一部の委員から否決すべきとの意見がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決しました。

委員から、今後の本市全体の事業計画の中で、行財政改善に十分配慮

した効率的な事業の実施を目指すべきだとする意見がありました。
執行部に対し、特別委員会での指摘や意見を十分踏まえて、適切な予

算の執行にあたられるよう要望しました。

予算特別委員会（15人）

委員長

古福 康雅

委員

副委員長

勝部 順子

飯塚 俊之

板垣 成二

狩野 正文

小村 吉一

松村 豪人

板倉 一郎

多々納剛人

福代 秀洋

直良 昌幸

米山 広志

荒木 孝

珍部 全吾

寺田 昌弘

放水路への分水条件を争点に

斐伊川・神戸川治水対策特別委員会

斐伊川・神戸川治水対策事業は、百年の大計といわれ、昭和五十七年九月議会において、市議会が同意し、出雲市として正式に恒松県知事に回答したものです。本事業は、上流のダム、中流の放水路、下流の大橋川拡幅の三事業を一体とした、いわゆる三点セットを基本として開始されました。上流、中流の事業は順調に工事が進み両地域ともにほぼ完成に近づいています。しかし現在、下流の大橋川拡幅工事には着手できず、同意時の条件である「大橋川改修が

完成しなければ中流の放水路には分水しない」との一項目がどのようなものか長年議論されてきました。平成二十二年九月に、溝口県知事が来訪され、この問題に対し、国、県、市で調整を図りたいとの申し入れがありました。本市関係地域は、神戸川上流の河川管理、河川敷の利用方法、下流地域の県河川の改修問題があり、今後市議会と市執行部、地元地域住民との意見集約が必要と考えます。

車社会における公共交通のあり方を検討

総合交通対策特別委員会

本委員会は、平成二十一年五月の本会議において、スマートインターチェンジの導入など、本市の基幹的交通網の整備促進、一畑電車の支援策及びバス交通システムの再構築の調査を目的として設置されました。平成二十三年三月議会まで、十二名の委員で九回の委員会開催、三回の市内外の視察を実施し、調査と検討協議を行いました。

特に山陰自動車道をはじめ国、県道などの基幹的道路のうち、山陰道の斐川、出雲インターチェンジ間にスマートインターチェンジを整備することの重要性や、その可能性の有無について調査、検討をしました。

一畑電車については、本委員会での調査に加え、松江市議会総合交通対策特別委員会と構成している「一畑電車沿線議員連絡協議会」の活動として、両市の沿線の市民の皆さまと意見交換会を開催し、今後の支援策について調査しました。

バス交通については、合併前からの路線の見直しや、市民が安心して生活ができる新たな交通環境の整備を促進するための調査と提言を行いました。

観光産業は最重要施策の一つ

観光産業振興特別委員会

二十一年度は、「本市の観光産業の現状とその振興策」「出雲大社周辺の整備状況」について執行部から

説明を受け、質疑を行いました。「出雲ひのみさき温泉の湧出」や「平成二十二年出雲神話まつり」



市民との意見交換会（一畑電車沿線議員連絡協議会）

※スマートインターチェンジ
高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りができるように設置され、通行可能な車両（料金の支払方法）を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジ。

神在月いずも全国そばまつり」について、執行部から説明を受け、主に、祭りの開催場所の変更について、熱心な議論を交わしました。

この間、富山県高岡市の「魅力ある観光のまちづくり」をはじめ、白川村、高山市、大垣市など先進地の視察調査を行い、参考にしました。

二十二年度は、神門通り整備事業の状況と、シェアド・スペース(車道・歩道共有空間)による社会化実験計画と空き店舗対策について、執行部

から説明を受け、社会化実験箇所と、「ひのみさきの宿ふじ」の建設現場の視察を行い、工事の進捗状況などについても調査を行いました。また、川越市の観光政策、宇都宮市のブランド戦略、墨田区など先進地の視察を実施しました。

他に類を見ない本市の歴史文化と緑豊かな自然環境をさらに観光資源として活用していくために、広域ネットワーク化による連携が重要であると考えられます。

「委員会ではこんな活動もしています。」

総務委員会

消防団の再編について意見交換会

総務委員会は、一月二十八日、三成重徳団長をはじめとする、出雲市消防団幹部の方々と意見交換会を開催しました。平成十七年の合併に当たって、消防団はそれぞれの自治体の編成事情からそのままの形態を維持する形で統合し、出雲市消防団を結成した経過がありました。

そこで今回の意見交換会では「消

防団の再編計画」を主な議題に取り上げました。現在総員は千七百三十八名で編成されていますが、社会情勢の変化、少子高齢化、消防装備の高性能化、また常備消防の近代化などにより、千五百八十九名からなる新しい計画を策定するものです。

議員からは、消防団員の減少は自治体の最も重要な住民の安心・安全

を確保する点から問題はないのか、といった点に質問が集中しましたが、合併により自治体の境界が解消され、協力体制も強化されたことから問題はなく、内部での十分な協議の結果であり対応できるとの回答がありました。また団員の士気の高揚につながる、制服などの貸与の改善の要望も出されました。二時間にわたって、団活動の苦労や、喜びをぶささへ向う良い機会でありました。

なお、消防団再編計画は細部を検討され、今年度中に策定されることになっています。

文教厚生委員会

社会情勢に即応した青少年育成策を

文教厚生委員会では一昨年から青少年育成策について調査・研究を進めています。触法少年による事件がきっかけでありましたが、青少年をとりまく社会状況や、問題への認識が大きく変化をしていることを重く受け止め、現在進められている出雲市の青少年育成策が、時代の変貌による認識のずれから実効性を失わないうような検証を行い、必要な課題については提言を行ってまいりたいと考えています。

現在まで、教育委員並びに教育政

策審議会委員の皆さまとの意見交換をはじめ、小・中学校長会、など関係諸団体の皆さまから貴重なご意見をいただいております。また、青少年育成策の先進地として新潟県三条市へ視察を行いました。本市においても青少年の健やかな成長を支える身近な「家庭・地域」が社会環境の変貌によって、どのような影響が生まれているのか今後も可能なかぎり、その背景などを調査・研究し、提言を取りまとめたいと考えています。



消防出初式での分列行進(出雲ドーム)

請願・陳情の審議結果

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
9	医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願	松江市浜乃木 島根県保険医協会 会長 古沢 正治	継続審査 に 賛成多数
	なぜ継続審査	医療費について、自己負担のあり方、税金での負担、健康保険組合での分担など、社会保障制度全体で議論した後に結論を見出すべきであり、また、後期高齢者医療制度などは、国において、新制度に移行する方針を固めているため。	
10	「国税通則法の改悪反対・納税者の権利確立を求める」との意見書採択を求める請願	出雲市白枝町 出雲民主商工会 会長 金山 政史	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	国税通則法の改正は、基本的には納税の義務を明確にし、スムーズな税行政の運営を目的としており、根本的に不要な改正とする意見書の内容には同意できないため。	
11	松くい虫防除のための空中散布再開の請願	出雲市平野町 高浜地区自治協会 会長 内藤 春夫	趣旨採択 に 賛成多数
12	北山山系(弥山山地)における松枯れ・斜面防災にかかわる請願	出雲市大社町杵築北 大社町町内会長連合会 会長 入江 紀久男	趣旨採択 に 賛成多数

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
9	新内藤川・午頭川改修計画の抜本的見直しについての陳情	出雲市荒茅町 新内藤川対策委員会 委員長 福田 勉 他8名	継続審査 に 賛成多数
	なぜ継続審査	斐伊川放水路事業や内水排除対策にも関わる案件であることから、単独で判断することが難しいことや、斐伊川放水路から分水された場合の長浜地区への影響について具体的な資料が乏しく、関係機関の詳しい調査が必要と判断したため。	
10	浜山の松枯れ防除対策早期実施についての陳情	出雲市松寄下町 高松自治協会 会長 寺本 昌之 他4名	採 択 に 全員賛成

意見書の審議結果

【意見書】

意見書番号	件名	審議結果
4	子ども手当の地方負担撤廃を求める意見書	原案可決 に 賛成多数

施政方針について聞きたい

会派代表質問

三月定例市議会では会派の議員が施政方針について代表質問を行いました。会派が選んだ項目（◎印のもの）について掲載しています。なお、原稿は質問した会派が要旨をまとめたものです。



真誠クラブ 多々納 剛人

◎所信について

- 産業の振興について
- 産業都市の創造
- 出雲神話観光大国の創造
- 人材育成都市の創造
- 平成二十三年予算の概要

平成二十三年度、市長の所信表明について

問

地方分権が叫ばれる中で、新たな行政運営に対する市民の皆さまとの信頼関係はさらに重要と感じている。これまで開かれた市政運営の実現を目指し、一貫して住民参加型システムの構築、財政の健全化、産業振興の三つを行政運営の基本方針として進めてこられたが、市長の理念や、施策断行への強い姿勢は市民の皆さまに理解が得られているのか伺う。

持続可能な地域づくりを主眼に運営をしてきました。

基本方針では特に財政再建を確かなものとし、将来にわたって持続可能な財政運営の堅持を基本として、その取り組みを議会や市民の皆さまの理解を得ながら進めて来たと考えています。しかし、一方では厳しいご指摘、ご意見をいただいていることも承知しています。今後さらに気を引き締め行政課題に取り組んでいきます。



市長
就任から二年間、開かれた市政の具体化と行財政改革など、市民に信頼される透明で公平、公正な市政運営と、一方では、将来にわたって持



雲州クラブ 松村 豪人

◎「産業都市の創造」から

- 「施政方針の所信」から
- 「健康文化都市の創造」から

今後の松枯れ被害をどう食い止めるか

問

本市では、北山地域を中心に松くい虫被害による松枯れが深刻な事態となっている。

松くい虫による推定被害量は、平成二十二年九月末で九千百十五本、前年の三・七倍で著しく被害が拡大している。被害区域についても前年の二倍にあたる七百二十ヘクタールとなっている。

本市では、空中散布を中心に防除してきたが、平成二十年五月の空中散布の後、千人以上の健康被害の訴えがあり中止、その後空中散布は実施されていない。空中散布の安全性の確立を待たねばならないが、目下の状況の中、施政方針に掲げている、松くい虫被害防止について、効果的で市民の理解が得られる対策を早急に講ずる必要に迫られている。時期はいつごろなのか伺う。

市長

本年度は、緊急対策会議を開催して、市外の森林組合などの協力も得ながら、伐採駆除、樹幹注入の強化も図ってきたところです。しかし、急速な松くい虫被害の進行に対して対策が追いついていないというのが現状です。出雲市自治会連合会をはじめ多くの地域団体から空中散布の再開を含めた総合的な被害防止対策についての要望が提出されたところです。

今後の被害防止対策については現在の状況を見極めながら、平成二十三年度において、これまでの対策の検証を含め、総合的に様々な角度から効果的で市民の合意が得られる方策を検討していきます。



●観光振興について
●森林の保全について

大社クラブ 古福 康雅

出雲大社を中心とした観光振興

問 道の駅「ご縁広場」における物販、飲食、休憩機能の拡充

内容は①整備内容②期待される民間提案とは③整備完了の時期④運営主体は。

市長

①地場産品を扱う物販施設と、民間活力による飲食施設の整備。休憩所やトイレの整備をはじめ、泉源の利活用なども検討します。②施設の計画づくり、魅力ある集客力、経営の効率性なども考慮した地元業者の提案に期待します。③二十五年の出雲大社正遷宮を目指します。④物販、飲食施設は、提案者の中から決定し、施設建設から運営まで行ってもらいます。道の駅の休憩所、トイレなどの公共性の高い部分は行政で行います。

問 県の社会実験を受けた、神門通りの整備スケジュールは。

市長

新年度から着手され、二十四年度中には勢溜交差点から一畑電車・出雲大社前駅まで、現道幅員十二メー

トルで整備予定です。市としてもポケットパーク整備や、沿道の建物修景、観光サイン整備に取り組んでいきます。

問

①地元商工団体など、民間の勢溜り坂下地域の開発計画があるが、行政の一歩踏み込んだ支援策は。

②国立公園・日御碕の観光振興への市長の思いは。

市長

①民間活力の動きは歓迎します。ポスト遷宮を見据えた息の長い観光地づくりが必要であり、連携して行います。②年間百万人の観光客が訪れる日御碕については、今後誘致したホテルが増し、新たな観光プランも提供できます。平成二十五年には日御碕灯台百十周年を迎え、地元のイベントなどを支援していきます。



●市民の命と健康を守る国民健康保険事業について
●子育て支援事業について
●産業都市の創造について

日本共産党 萬代 弘美

国民健康保険行政の改善を

問

所得三百万円の四人世帯で、国保料四十三万円余りとなるなど、国保料の負担が限界を超えている。滞納世帯が、約十世帯に一世帯の割合で生まれている。事実上の保険証の取り上げである資格証明書交付世帯が百七十五世帯にのぼっている。

今日の国保問題の根本原因は、国が国庫補助を減らしてきたことにより、多くの自治体が一般会計からの法定外繰入れを行って国保財政を支えている。

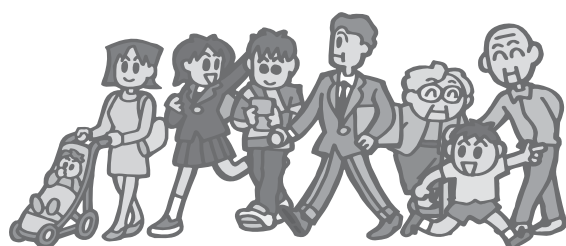
①病気になるたとき安心して病院に掛かることを保障することは行政の第一義的な仕事ではないか。国や県に助成を行うよう強く求めると同時に、一般会計からの繰入れを行って、高すぎる国保料の引下げを実施すること②保険証の交付と滞納世帯に対する指導、援助は切り離し、保険証の取り上げは直ちに中止することを求め、市長の所見を伺う。

市長

平成二十二年度は、一般会計からの借り入れなどにより、負担の抑制を図ってきました。新年度において

も、医療給付などの増加に伴い、引き上げが必要になることも想定されますが、最大限保険料の負担抑制策を考えています。

資格証明書の発行については、面談などを通じて個々の事情を勘案しながら、きめ細やかな対応をしています。そのうえで、特段の理由もなく納付いただけない方については、給付の制限となる資格証明書の交付はやむを得ない措置と考えています。





平成クラブ 宮本 享

自治基本条例の策定は

- ◎自治基本条例について
- 斐川町との合併について
- ゼロベース評価について
- 産業の振興について
- 健康文化都市の創造について

問

市民懇話会では、「自治基本条例」に盛り込むべき事項として、具体的にどのような意見が出ているのか。また、これらの意見をどう集約していくのか。

また、議会への提案はいつごろになるのか。

市長

自治基本条例に盛り込む内容として、今後の出雲市のあるべき方向性を示す基本理念、その実現への自治体の運営ルール、「市民と行政の関係」「地域コミュニティ」など、ま

ちづくりに関わる重要なテーマについて、市民目線で検討いただいています。

議会への提案については、市民懇話会の進捗状況も勘案しなければいけないと考えていますが、現段階での目標は、新年度中に条例素案を作成し、平成二十四年度中の施行を目指したいと思っています。その間、素案・骨子などが出来た段階で、議会と相談させていただき、また、提言書・条例案がまとまった段階で議会に報告し、協議をさせていただきたいと思っています。



河南クラブ 山根 貞守

出雲市立総合医療センターの運営形態を問う

- ◎健康文化都市の創造について
- 財政の健全化について
- 産業振興について

問

市立総合医療センターは、四十億円もの事業費をかけて改修を実施する。その背景には、毎年多額の赤字経営が続く中で、経営

の立て直しを第一に、公務員的な病院経営では、赤字経営からの脱却は出来ないということから、病院自らが主体性を持ち、かつ、事業運営に

対し責任の所在が明確な「非公務員型の地方独立行政法人」が最も良いとの説明であった。しかし、実際は今までの運営形態と大差がなく、職員の身分は公務員のままで「地方公営企業法全部適用」の病院とされた理由を伺う。

市長

医療センターの運営形態は、非公務員型の独立行政法人への移行では、医療従事者の身分が大きく変わることにより、職員確保が困難になります。また、法人移行時の退職金などの多額な繰入れ金が必要になります。リスクの大きい独立行政法人化ではなく、当面、全部適用の病院とする方向としました。



◎財政に関する考え方と平成二十三年度予算執行方針

財政健全化への取り組みを問う

問

前西尾市長は持ち前の明るいキャラクターで、行け行けドンドンの施策を展開した。ある意味で市民に期待と高揚感を与えた。一方で現在の市財政の悪化を招いたのも事実だ。

長岡市長は、長い行政経験から、地方行政の根幹は財政の健全化にあると確信され、行政の透明化によつ

問

民間の感覚で病院経営をしながらは、赤字経営からの脱却はできないということから、議会でも平成十九年度に「特別委員会」を設置し検討を重ねてきたが、昨年十二月に、いきなり「公務員型の全部適用」の病院とされた訳を再度伺う。

市長

私も以前、病院経営は、独立行政法人化が望ましいと思っていました。しかし、県内的に深刻化した医師確保というさまざまな観点から、結果的に全部適用という方向転換を、せざるを得なかったのが実情であります。

市民・新生クラブ 原 隆利

て、住民との情報の共有化こそ、これからのまちづくりの基本としてこの二年間実践してこられた。しかし、緊縮財政は一步間違えれば、地味で活力をなえさせてしまう。

市民に本市のこの財政の危機的状況を分かりやすく説明する必要があると思うが。

市長

本市の実質公債費比率は平成二十一年度は二十一・九％です。全国平均が十一・二％であるのに比べても大きく上回っています。この数値が二十五％以上になると、財政再建化計画の策定が義務付けられ、合わせて国・県の指導が強化されます。一般単独事業に係る起債の発行が制限され、事業の執行ができなくなる恐れがあります。三十五％以上になれば、

ば、国の同意がなければ起債発行はできなくなります。具体的には、生活環境整備などの市民の皆さまの要望に 대응することができなくなる状況や、市単独事業を廃止したり補助金の制限など、市民生活に大きな影響を与えることが想定されます。こういった状況に陥らないためにも中長期的な展望に立って、行財政改革を徹底し、財政の健全化を強力に進めていきます。



- ◎人材育成都市の創造
- 所信
- 住民参加型システムの構築について
- 財政の健全化について
- 産業の振興について
- 産業都市の創造について
- 出雲神話観光大国の創造
- 都市・交流拠点の創造
- 環境先進都市の創造

市民新風会 多久和 康司

きめ細かな文化の振興で地域力の向上を

問

文化とは、生活の質を高めるための人々のさまざまな活動及びその成果であり、私たちの生き方や暮らしぶりそのものが、文化であると考えます。文化の持つ力「文化力」とは、人や地域をひきつけ魅了する力である。こうしたことから文化力向上のためのNPO法人設立の動きがある。これに対して市として支援が必要であり、地域力を高めるためにも、今、きめ細かな文化の振興が必要であると考えます。きめ細かな文化振興策の取り組みを伺う。

市長

これからの出雲の芸術文化を振興するうえでの方向性を明らかにするため、出雲市芸術文化振興指針を策定したところです。その中で、芸術文化振興を図るうえでは、長い歴史と伝統、有形無形の文化遺産など、豊富な歴史文化遺産を再確認し、保存・継承・発展させることが重要です。また、芸術文化活動の中心的役割を担うのは市民であり、その活動に対する助成を行うなど、市民主体の芸術文化活動を支援していくことにしています。特に地域伝統芸能は、

後継者不足により保存・継承が難しくなっている厳しい状況にあることから、保存会などの活動とともに、

各地域の実態調査を行い、この結果を共有し団体間の情報ネットワークを構築していく考えです。



- ◎市民の交通手段の確保
- ◎子育て事業の更なる充実
- 財政の健全化
- 健康文化都市

公明党 勝部 順子

『交通空白地域解消事業』『保育ママ制度』の導入を望む

問

交通空白地域の交通確保のために島根県は、「交通空白地域解消支援事業」を開始する。出雲市内も中山間地域をはじめ、中心市街地でも交通空白地域があるのが現状だ。県の事業開始にあわせて取り組み、市民のニーズに添えていきたい。

問

待機児童の解消のために、ほぼ毎年のように保育所定員検討委員会が設置されている。保育所の整備も必要だが、待機児童解消のために全国の自治体で取り組まれている「保育ママ制度」の導入を提案する。大田市では、昨年十二月から国の家庭教育事業で、保育ママ制度を導入スタートされた。子どもを保育者の居宅などで保育する家庭的な事業で、預かる子どもも人数も少なく、きめ細やかに対応ができるのが特徴だ。出雲市でも、検討される事を望む。

市長

県が創設される事業は、以前は中山間地域が対象でありましたが、新年度から市内全域において交通空白地域の解消に向けた事業も対象になりました。現時点での県からの情報では、バス停から一キロ以上離れた集落について、交通対策を講じる場合、立ち上げに必要な経費の二分の一を補助する制度となっています。非常に有効な補助事業と認識していますので、積極的に活用し市民の交通手段の確保に努めます。

市長

ニーズがあると思えば、検討の余地もあると思います。調べたうえで判断していきます。

市政のここが聞きたい 一般質問

3月定例会市議会では16人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで（◎印のもの）掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

曾田盛雄 議員 (13ページ)

- ◎地域農業の将来像は
- ・組織体制の見直しについて

遠藤力一 議員 (13ページ)

- ◎山陰有数の医療福祉拠点として今後の取り組みを聞く
- ・出雲科学館の利用促進、特に市内関係産業の利用について
- ・シカ被害対策について

米山広志 議員 (13ページ)

- ・NPO法人出雲スポーツ振興21
- ◎市道神門214号線
- ・鰐淵小学校猪目分校

板倉明弘 議員 (14ページ)

- ・竹島の領土権確立への取り組みについて
- ・小中学校における竹島教育について
- ◎自殺（自死）防止対策を更に推進するために条例の制定を求める
- ・市立総合医療センターの運営について

大国陽介 議員 (14ページ)

- ・保育制度のあり方について
- ・市内小中学校の教育環境について
- ◎公園遊具などの安全確保と修繕について
- ・「広報いずも」の配布と町内会について

木佐 宏 議員 (15ページ)

- ・主要施策・主要事業
- ・斐川町との合併について
- ◎防災危機管理について
- ・公僕としての姿勢を問う

板倉一郎 議員 (15ページ)

- ◎出雲市における耐震化の推進について
- ・心の健康に対する支援について

小村吉一 議員 (16ページ)

- ・学校の通学区域制と指定校の変更について
- ◎金山水源の水質改善について

広戸恭一 議員 (16ページ)

- ◎斐伊川放水路からの分流にともなう、内水排除の課題と対策を問う
- ・市職員の士気向上について、市長の具体策を問う

川上幸博 議員 (17ページ)

- ◎防風林と飛砂について(海岸部における)
- ・農林水産業の振興について

福代秀洋 議員 (17ページ)

- ◎町内会（自治会）加入促進について

珍部全吾 議員 (17ページ)

- ◎旧穴道邸での障がい者アート美術館構想について
- ・都市計画税について

飯塚俊之 議員 (18ページ)

- ・排水機の維持管理について
- ◎鰐淵寺の国史跡指定へ向けた調査について

西村 亮 議員 (18ページ)

- ◎持続可能な地域づくりと今後の課題
- ・出雲市消防団再編計画を問う

狩野正文 議員 (19ページ)

- ・コミュニティセンターの運営について
- ◎向陽中学校の整備について

萬代輝正 議員 (19ページ)

- ◎「北山健康温泉」の指定管理者選定は、誰のためだったのか問う
- ・「予算編成過程の公開」とは、自己満足のお絵書きであってはならない

曾田盛雄

地域農業の将来像を示せ



問

①本市の農林水産業の収益が急激に減少している。②食料の安全と自給力向上が叫ばれているが、全くかけ声倒れに終わっている。本市の地産地消の取り組みは。③TPPは原則すべての品目の関税を撤廃し、例外なく自由化させる協定である。食料は、自国での生産供給が基本であると考えている。④農地・水・環境保全向上対策が変わると聞いたが、営農活動に対しどのような影響があるのか。

市長

①農業産出額の減少は、景気低迷や米価の下落が影響しています。高齢化や耕作放棄地の増加も原因で、今後は多様な担い手の確保や売れるものづくりを進め、この減少に歯止めをかける考えです。

②地産地消の取り組みは、食育の推進を図るためにも、学校給食での地産地消の促進が極めて重要なことだと考えています。生産者団体や市場などと、より緊密な情報交換をしながら促進方策の検討を進めます。

③TPP問題は、本市でも地域の農業、農村をしっかりと守っていく立場から、現時点での議論はさらに慎重

重に対応するよう国に要望を強めます。④「農地・水・保全管理支払交付金」の制度が、さらに進むよう期待をしています。



JA特産物集出荷場（平田町）

遠藤力一

山陰有数の医療福祉拠点として 今後の取り組みは



問

①出雲市は、山陰有数の医療福祉拠点だと市長は施政方針で述べられた。具体的データを示し、市民にとつてどのようにプラスに働いているのか伺う。

②医療分野での経済的效果は注目され、海外からの医療滞在も増加傾向だ。医療圏域として、先端医療施設、機器開発、医療ロボット研究機関などの集積を図ることも一案だ。将来構想があれば伺う。

③総合医療センターへの電子カルテ導入の効果、電子カルテによる他の医療機関との連携について、先進地に学んで取り組まれるよう要望する。

市長

①出雲医療圏（出雲市・斐川町）の病

米山広志

市道神門二一四号線 トキ飼育優先で車両通行制限



問

市道神門二一四号線は、県道大社立久恵線から農業試験場入口の十間川堤防道路沿いの路線です。この隣接地に、トキ飼育施設建

設予定地があり、平成二十年二月に環境省、野生生物課長が現地視察した際、車の通行があれば候補地としてふさわしくないと指摘されたよう

院や診療所のベッド数は、二千九百六十一で、山陰では四番目に位置し、医師数は、二番目の七百四十三人です。人口十万人に対する医師数は四百二十九人、山陰では最も上位で、全国平均が十万人あたり二百二十五人という状況の中では、大変充実した医師の数です。

他地域に比べ恵まれた環境で、安心安全、健康に暮らせる地域社会ということなのです。

②医療分野の経済的效果の方策として、医療関係では国内有数の企業が市内にあり、医療関連企業の誘致・増設などの充実に取り組みます。

医療ツーリズム、関連産業の立地、看護系専門学校の誘致などを通じて、マンパワーの育成に取り組む考えです。

だ。
①環境省、野生生物課長の指摘事項は。
②道路整備完了後に車両の通行を禁止した理由、禁止とした年月日、期間はいつまでか。
③現在、可動式車止めで施錠され、車両の通行が不可能だが、自然災害、火災の発生、農作業時などの対策は。

農林水産調整監

①指摘事項として、隣接の市道や十間川左岸の市道が建設候補地より高い位置にあるため、車両が通行する際の騒音や夜間のヘッドライトにトキが驚いてパニックを起こすことが想定され、特段の配慮が必要ということでした。

②平成二十二年三月三十日に完了しましたが、トキの分散飼育に配慮したものです。当分の間は車両の通行を制限する考えです。

③農業者の方々、県農業技術センターなどで所持、保管をしているかぎで対応します。今後は、トキ分散



市道神門214号(芦渡町)トキ飼育優先で車両通行制限

板倉明弘

自死(自殺)遺族を 二次被害から守る取り組みを



問 自殺者数は、全国では十三年連続で三万人を超えている。本市でも毎年五十人ぐらいの方が亡

くなっておられる。自殺対策基本法の中で、自殺対策は単に自殺を防止するだけでなく、

自殺者の親族に対する支援を図ることも、重要な柱の一つとされている。自死に伴うさまざまな行政手続の中で、「遺族は担当者の不適切な対応で苦しめられている」という声を聞く。本市の窓口ではどのような配慮がなされているのか。また、自死への理解不足や偏見による物心両面の二次被害について、支援対策と自死遺族のための自助グループの育成について伺う。

健康福祉部長

自死遺族に関するリーフレットや手記を共同で作成したり、民生児童委員協議会や仏教会などの関係機関や各地区の健康教室などでそれらを配布しています。

また、当事者の声を聞く機会として職員や民生児童委員の研修会を開催しています。今年度は、「しまね自死遺族フォーラム・パネル展」に協力しました。フォーラムでは、市

大国陽介

公園遊具の修繕を急いで



問 「公園の遊具が壊れていて危ない、早く直せないものか」との意見が寄せられている。いくつかの公園を見て回ったが、遊具が壊れたままのものが多く、良好な状態

とは言えない公園が多く見受けられた。遊具は、子どもたちが安心して遊べるよう、良好な状態が保持されるべきものと考えるが対応を伺う。



しまね自死遺族フォーラム 2010 (於 出雲市民会館)

内外から多数の参加があり自死について理解する場になるとともに、自死遺族会、行政の役割を確認できたと思います。窓口対応にも十分な配慮をしていきます。

都市計画調整監

公園は子どもたちの貴重な遊び場で、常に安全で良好な状態に保たれている必要があると考えています。中でも、遊具の安全確保は特に重要であると認識しています。

問

浜山公園では、壊れている遊具が多くあった。黄色いテープが巻いてあり「使用禁止」、「立入禁止」などと書かれ、長期に放置されているという状況だ。市の公園では、高西公園で、鳥形の遊具や木製の総合遊具が壊れて使えない状態

木佐 宏

防災危機管理意識の徹底を



問

島根原子力発電所の事故を想定し、内閣総理大臣が原子力緊急事態宣言を発し、対策本部設置、事態の推移に応じ、警察、消防、海上保安庁の部隊派遣など、濃厚濃密な訓練プログラムが策定実施されている。美野本線バイパス事業について、私は十キロ圏内に位置する伊野地区民は、地合町から美野本線經由、国道四三二号に出て、一秒でも迅速に原子力発電所から遠く避難することが肝要であると考えている。

私は、議会に出る前にも、前西尾市長や前野津副市長、松江市や県河

だった。さらに、長浜中央公園ではブランコが、真幸ヶ丘公園でも遊具が壊れ、危険箇所がロープが張られ「立入禁止」となっていた。「良好な状態が保持される」と言われたが、これは一体どういうことか。再度点検し、直ちに修繕することを求める。

都市計画調整監

平成二十一年度から更新・修繕を進めているところです。今、そのスタート地点に立ったと考えていますので、理解いただきたい。

川がある関係から県も巻き込んで避難対策をと訴えた経過がある、もつと真剣にやるべきだ。
県の平成二十年度約束の湯谷川改修事業が停滞しているが、防災危機管理認識を伺う。

都市建設部長

美野本線は、防災ルートということで現状の北側を迂回するバイパスルートでの計画を策定し「第一次幹線市道十か年計画」に整備路線と位置付けています。平成十九年度計画策定以来、一部地権者の反対もあり、

現段階では事業の進捗が図られていないが、この度全体の合意形成が出来たので、本路線の整備時期を検討します。

湯谷川は、平成二十二年に栄橋の架け替え工事に着手、京塚川までの用地買収の為の建物調査が行われる予定です。

板倉 一郎

一般住宅の耐震化の推進を



問

住民の生命、財産を守るために重要な建物の耐震化の状況について次の点を伺う。

- ①一般住宅の耐震化は。
- ②耐震化の助成は。
- ③耐震改修への助成制度を創設する考えは。
- ④今後の耐震診断普及の取り組みは。

都市建設部長

①新耐震基準が、昭和五十六年に策定されていますが、それ以前に建築された耐震性の低い可能性のある住宅が、約一万五千七百戸、耐震性に問題がないと思われる住宅が、約三万六千戸です。

②耐震診断の助成制度の利用状況は、平成二十、二十一年度がそれぞれ



防災危機管理の希薄さを証左する伊野・唯一幹線避難道路の現状

れ一件、二十二年度はゼロ件です。
 ③耐震改修を促進するため、二十三年度から、耐震化改修の助成制度を創設します。
 ④県と協力しPRなどを行っていきます。

問 耐震改修への助成制度の概要と、応募多数の場合の予算措置

置について伺う。

都市建設部長

耐震の一般診断で三分の二（上限四万四千円）、精密診断で同じく三分の二（上限十二万円）。耐震の改修費は改修費総額の二十三日（上限八十万円）です。市民の安全安心のための制度として補正予算も検討します。

金山水源（国富町）の水質改善を

小村吉一



問 先日、「電化による温水器が使えるようになった。今は、家族全員が温泉施設で対応している。何とかできないか。」という電話があった。
 かねてから、金山水源の水質は、硬度が高く、エコキュートが故障・破損する事故が起きている。

「安心安全な水を供給する」行政として、この問題は、座視できない喫緊の課題と考え、質問を行う。
 ①金山水源から給水している世帯数と温水器の普及、故障件数を伺う。
 ②市として、この問題の根本的解決策を、どう考えているのか。



破損が続くエコキュート（温水器）

上下水道局長

①給水世帯数は、約九百戸。エコキュート設置戸数は、百二十戸程度です。故障件数は把握していないが、昨年度の夏頃から水質対策の要望が増加の傾向にあります。
 ②エコキュートの普及が急増してい

斐伊川放水路からの分流にともなう、内水排除の課題と対策を問う

広戸恭一



問 流域住民は安全・安心のため内水排除の早期完成を強く願望している。知事から出雲市長・議長に対し「斐伊川放水路完成（二十四年度）後、速やかに分水が開始できるように協力を」と申し入れがあった。

市長は、「新内藤川・赤川・午頭川・塩治赤川の内水排除対策が、具体的に事業進捗が図られ確認できた段階で分水を了承したい」と考えを表明されたが、

①市長は、県に対して具体的な要望をしているか。
 ②「三点セットが完成しても、内水排除対策が完工されていないければ、分水はさせない」との見解もあるが、これは昭和五十七年同意の条件に当てはまるか。

③県議会では佐々木雄三県議から知事に対し「斐伊川・神戸川治水事業に対する取り組みと姿勢」の質問に、

るので、薬品処理による炭酸水素カルシウムの結晶反応をなくす方法で、今年の夏までには対策を完了したいと考えています。また、同じように硬度の高い釜谷水源（釜浦町）についても、同様の対策を実施する予定です。

知事は内水排除対策に三十年かかるところを、十年で行うと答弁された。後日、予算について調べると、平成二十三年度は十七億円規模と聞くが、県予算の見通しを伺う。

都市建設部長

①「いつまでに」「どの区間を」「どのように整備する」のかを、具体的なスケジュールの形で提示していただくよう要望をしています。

市長

②当然、条件の中の一つであるという認識をしています。その上で内水排除のさまざまな要望をしています。

都市建設部長

③県から箇所付けが示されるのは、五月頃の担当課長会議です。



荒廃した防風林（神戸川河口）

行政の責任で防風林の保全を

川上幸博



問

防風林は、風の害による家屋や耕地への被害を軽減するために設けられている森林である。基幹防風林、耕地防風林、屋敷林の三つに分類され、公益性の高いものは、保安林として行政により管理されている。長浜地区の防風林の現状と今後への取り組みについて伺う。

農林水産調整監

長浜海岸一帯の山林は、約四十八ヘクタールあり、ほとんどが防風保安林に指定され、海岸からの飛砂や強風から住宅や農地を守る大切な森林です。しかし、松くい虫被害により平成二十二年九月末の時点で

二十九ヘクタールの区域で約五百本枯死し、地域の暮らしに影響を与えています。

被害対策として平成二十二年度は、特別伐倒駆除を四百九十六本、樹幹注入を二千八百本実施し、防風機能の維持に努めています。今後の対策として、特別伐倒駆除、樹幹注入を積極的に行います。また、抵抗性松の植栽にも取り組み保安林保護に努めます。

問

林業3F事業に、保安林の維持管理を事業対象に加えていく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

河内副市長

林業3F事業の中で、保安林の健全な確保が、一つの方法であると思います。県などと協議を行い最適な方法を検討します。

国産材の消費低迷や手入れ不足による森林の荒廃などを改善し、林業の振興と活性化を目指すため、平成19年度から、市と出雲地区森林組合及び市内木材関係団体が資金を拠出して、森林の整備や有害鳥獣被害対策、市内産木材の利用促進等についての取り組みを行う事業者に対し支援する林業補助事業「21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド（林業3F事業）」のこと。

林業3F事業とは

問

市長は、施政方針の中で、「コミュニティ活動の基盤となる町内会、自治会について、その加入率が年々低下しており、地域によっては、組織の維持ができなくなるとの懸念もある。このため特に低下の著しい都市部を中心に自治協会などと連携し、マンシヨン、アパートなどの町内会、自治会加入促進に、重点的に取り組む。」と述べている。町内会・自治会加入促進について、目標を設定し、実行に移すことが重要だと考える。そこで次の点を伺う。

② 加入促進の具体的手法と目標

地域振興調整監

① 町内会では、防災、防犯、青少年育成、福祉、環境保全、伝統行事の

町内会加入促進に どう取り組むのか

福代秀洋



開催などさまざまな活動が行われています。これらにより、地域コミュニティがつくられ、住民主体の問題解決能力が育まれています。

② 以下のような手法を実施検討します。一、市民窓口での啓発 二、不動産業者との連携 三、国・県官舎への働きかけ 四、市職員未加入者への働きかけ 五、準会員制度（会費の軽減、役員の免除など）。



珍部全吾

旧穴道邸問題



問

旧穴道邸（塩冶町）は、歴史的建築物として出雲市が

約七千万円余りで買収したものであり、当初は和 문화の研修のために利

活用する目的であった。その後、改築などに多額の費用を要するなどの問題が生じ、その扱いが議論されたが、昨年十二月突然、日本財団の百％補助により「障がい者アート美術館構想」が新聞に報道された。

十二月二十日の全員協議会において、資料配布がされ、「一億円余りの改修費の百％補助を日本財団から受け、市内の社会福祉法人に委託し、本年一月には委託先の法人を決定したい」との報告が健康福祉部長からなされた。しかし、三月には事が一变し、補助金は、上限三千万円であり、他の経費は、県に二千万円お願いし、市は法人の借入金四千七百万円を債務負担行為として肩代わりす

るとのことだ。その経緯と今後の見通しを伺う。

健康福祉部長

日本財団からの補助は、全額百％ではなく上限三千万円の百％でありましたが、市としての見通しに甘さがあり申し訳なく思っています。三千万円の、百％補助に変更はありません。財団との協議も進んでおり、県からの二千万円補助も期待できます。

市長

さらに他の補助などにより、市負担が抑えられればとの思いもあります。もう一度よく考えていきます。

飯塚俊之

歴史的価値の高い 鰐淵寺とその周辺



ある。広範囲の調査を求める。

文化環境部長

①調査の目的は、未公開の美術工芸品などの歴史的価値を明らかにするとともに、さまざまな視点から、鰐淵寺の成り立ちや変遷過程を説明することです。
②調査の範囲は、文献資料、美術工芸品、現存する建造物や埋蔵文化財など四分野です。

西村 亮

持続可能な地域づくりと 今後の課題



①近年、高齢化・核家族などによる自治会・町内会加入率の低下（加入率・平成十七年七十六・四％、平成二十二年七十七・七％）により、今後の地域づ

くりが懸念される。住民は、負担金・奉仕作業・役職などを負担に感じている。これまでも、清掃活動（除草、ごみ拾い、障害木の伐採・撤去）など、



国の史跡指定を目指す鰐淵寺

奉仕作業が行われている。

年末から年始にかけての雪害における、倒木による停電・通行止め・除雪などの奉仕作業については助成すべきと考える。負担金・奉仕作業の軽減策を伺う。

②中国電力との連絡体制・協力体制に関する取扱い確認書を交わしながら、今回機能しなかったが対応策は。

地域振興調整監

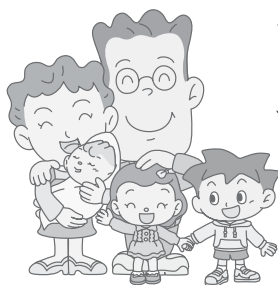
①町内会加入率の低下傾向による町内会組織の弱体化により、今後の自治組織の運営や地域環境の維持対策の必要性は認識しています。

今回の雪害の状況から、除雪作業・倒木処理・事前伐採・地域振興自治会離れなどの対応策・助成制度など、

検討すべき課題と認識しています。

②平田管内において多くの停電が発生し、復旧に時間がかかった件ですが、本市と中電出雲営業所で平成十七年八月二十四日付で災害時の連絡・協力体制の確認書を取り交わしています。今回、多数の電線被害が発生し、中電との連絡が取りにくい状況がありました。

今後は、具体的な連絡網の構築を行い対応していきます。



狩野正文 出雲市立向陽中学校の 通学路と備品の整備を問う



問 平成二十五年四月開校予定の向陽中学校の通学路やそれに付随した防犯灯、信号機、横断歩道などの整備について伺う。
また、初年度備品の整備方針について伺う。

教育部長

登下校時における子どもたちの安全確保の観点から、向陽中学校建設

期成同盟会長をはじめ、灘分・檜山東・伊野の四地区の自治協会会長から要望書が提出されており、これを踏まえ、最大限の準備を行う考えです。向陽中学校の備品については、旭丘中学校で使用していたものを有効に使用することを基本とし、開校時及び開校後二、三年間の生徒数を考慮の上、新しい校舎にふさわしいものを、概ね平成二十四年度中に整備

する考えです。

新設校という特別な事情や保護者の負担軽減の観点から、部活動に関する備品や部活動で使用するユニフォームなどについて、開校に併せて、市で準備していきたいと考えて

萬代輝正

地域の混乱を招いた 指定管理者選定を問う



問

今回の「北山健康温泉」の指定管理者選定では、地域で支えてきた施設であったにもかかわらず、県外業者への決定がなされた。決定段階や移行過程について市として心の通う対応が本当に出来ていたのか。

また、食堂部分についても雇用などのことがあるのに、二か月前に契約の期限切れの報告をするなど、役所目線の対応である。今後の対応を問う。

健康福祉部長

100%厳密にと言われますと難しいところがありますが、適正に実施をしたと考えています。

黒目副市長

地元ときちんと話し合い、調整をするという口先だけで、全く配慮がないということは、ご指摘のとおり

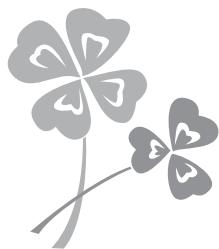
います。

なお、通学路の整備については、向陽中学校整備の関連事業として、教育委員会が引き続き窓口となっております。

だと思います。お詫びを申しあげます。きちんと誠意をもって、お互いに話し合いの中で、円満に解決させていただければと感じています。

市長

私どもの対応に十分でなかった点が多々あったということ、これは素直に認めるところですが、一旦決まったものを、もう一度白紙に戻す考えはありません。食堂部分の経営者の方にも話し合いの中で円満に解決していこうと考えています。



番 号	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐 宏	西村 亮	小村吉一	大国陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉 一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	戸 恭 一	直良昌幸	坂根 守	板倉明弘	萬代弘美	勝部順子	米山広志	宮本 享	原 隆利	多久和康司	荒木 孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	山代裕始	
平成22年度(2010)第4回臨時会																																		
議第112号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	議長

平成22年度(2010)第5回定例会																																		
議第113号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議第114号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議第116号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第117号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第118号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第119号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第120号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第121号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第122号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第123号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第124号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第125号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第126号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第127号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第128号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第129号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第130号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第131号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第132号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第133号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第134号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第135号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第136号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第137号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第138号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第139号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第140号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第141号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第142号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第143号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第144号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第145号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第146号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第147号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

議長

○：賛成、●：反対、－：棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

採決の結果

番 号	件 名	審議結果	賛 成	反 対
平成22年度(2010)第4回臨時会				
議第112号	平成22年度(2010)出雲市一般会計第7回補正予算	原案可決	31	0
平成22年度(2010)第5回定例会				
議第113号	平成22年度(2010)出雲市一般会計第8回補正予算	原案可決	31	0
議第114号	平成22年度(2010)出雲市国民健康保険事業特別会計第3回補正予算	原案可決	31	0
議第115号	平成22年度(2010)出雲市老人保健医療事業特別会計第2回補正予算	原案可決	31	0
議第116号	平成22年度(2010)出雲市後期高齢者医療事業特別会計第1回補正予算	原案可決	28	4
議第117号	平成22年度(2010)出雲市介護保険事業特別会計第2回補正予算	原案可決	32	0
議第118号	平成22年度(2010)出雲市簡易水道事業特別会計第2回補正予算	原案可決	32	0
議第119号	平成22年度(2010)出雲市下水道事業特別会計第3回補正予算	原案可決	32	0
議第120号	平成22年度(2010)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第2回補正予算	原案可決	32	0
議第121号	平成22年度(2010)出雲市浄化槽設置事業特別会計第1回補正予算	原案可決	32	0
議第122号	平成22年度(2010)出雲市風力発電事業特別会計第1回補正予算	原案可決	32	0
議第123号	平成22年度(2010)出雲市ご縁ネット事業特別会計第1回補正予算	原案可決	32	0
議第124号	平成22年度(2010)出雲市病院事業会計第2回補正予算	原案可決	32	0
議第125号	平成23年度(2011)出雲市一般会計予算	原案可決	28	4
議第126号	平成23年度(2011)出雲市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	29	3
議第127号	平成23年度(2011)出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第128号	平成23年度(2011)出雲市診療所事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第129号	平成23年度(2011)出雲市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	28	4
議第130号	平成23年度(2011)出雲市介護保険事業特別会計予算	原案可決	29	3
議第131号	平成23年度(2011)出雲市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	29	3
議第132号	平成23年度(2011)出雲市下水道事業特別会計予算	原案可決	29	3
議第133号	平成23年度(2011)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第134号	平成23年度(2011)出雲市浄化槽設置事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第135号	平成23年度(2011)出雲市風力発電事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第136号	平成23年度(2011)出雲市ご縁ネット事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第137号	平成23年度(2011)出雲市企業用地造成事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第138号	平成23年度(2011)出雲市駐車場事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第139号	平成23年度(2011)出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第140号	平成23年度(2011)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第141号	平成23年度(2011)出雲市廃棄物発電事業特別会計予算	原案可決	32	0
議第142号	平成23年度(2011)出雲市水道事業会計予算	原案可決	29	3
議第143号	平成23年度(2011)出雲市病院事業会計予算	原案可決	32	0
議第144号	出雲市特別会計条例の一部を改正する条例	原案可決	28	4
議第145号	出雲市移動通信用鉄塔施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第146号	出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第147号	出雲市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	29	3

番 号	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐 宏	西村 亮	小村吉一	大国陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	広戸恭一	直良昌幸	坂根 守	板倉明弘	萬代弘美	勝部順子	米山広志	宮本 享	原 隆利	多久和康司	荒木 孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	山代裕始	
議第148号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第149号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第150号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第151号	簡 易 採 決																																	
議第152号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第153号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第154号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第155号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第156号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第157号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第158号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第159号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第160号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第161号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第162号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第163号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議第164号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第165号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第166号	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第167号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第168号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第169号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第170号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第171号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第172号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第173号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第 3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第 4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第 5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮第 6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 9号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第10号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第11号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○
請願第12号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○
陳情第 9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第6号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

議長

○：賛成、●：反対、－：棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

採決の結果

番 号	件 名	審議結果	賛 成	反 対
議第148号	出雲市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第149号	大社ご縁ネットの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第150号	出雲市農林業関係事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	29	3
議第151号	出雲市漁港管理条例の一部を改正する条例	撤 回		
議第152号	出雲市特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第153号	出雲市定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第154号	出雲市漁業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第155号	出雲市普通公園条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第156号	出雲市生活バス運行事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第157号	出雲市簡易水道事業の設置等に関する条例及び出雲市水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
議第158号	出雲市母子生活支援施設条例を廃止する条例	原案可決	32	0
議第159号	出雲市サイクリング・ターミナルの設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決	32	0
議第160号	出雲市サイクリング・ターミナル事業基金条例を廃止する条例	原案可決	32	0
議第161号	出雲市レンタサイクルの設置及び管理に関する条例	原案可決	32	0
議第162号	出雲市過疎地域振興基金条例	原案可決	32	0
議第163号	出雲市防災行政無線施設の設置及び管理に関する条例	原案可決	28	3
議第164号	出雲市保健センターの設置及び管理に関する条例	原案可決	32	0
議第165号	辺地に係る総合整備計画の策定について	原案可決	32	0
議第166号	公の施設の指定管理者の指定について(ひらた健康福祉センター障がい者福祉部門)	原案可決	31	0
議第167号	公の施設の指定管理者の指定について(立久恵峡わかあゆの里)	原案可決	32	0
議第168号	出雲市公有林採石変更契約の締結について	原案可決	32	0
議第169号	工事請負契約の締結について(出雲市大社水産物荷捌所建築工事)	原案可決	32	0
議第170号	工事委託変更協定の締結について(都市計画道路大津中央一の谷線(2工区)街路事業に伴う山陰線直江・出雲市間384K284m付近山廻架道橋改築工事委託)	原案可決	32	0
議第171号	市道路線の廃止について	原案可決	32	0
議第172号	市道路線の認定について	原案可決	32	0
議第173号	出雲市漁港管理条例の一部を改正する条例	原案可決	32	0
同第 3号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について(成瀬達郎氏)	同 意	31	0
同第 4号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について(槇野 裕氏)	同 意	31	0
同第 5号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について(森脇慶昌氏)	同 意	31	0
諮第 6号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて(竹田初美氏)	同 意	31	0
請願第 9号	医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める請願	継続審査	29	3
請願第10号	「国税通則法の改悪反対・納税者の権利確立を求める」との意見書採択を求める請願	不 採 択	29	3
請願第11号	松くい虫防除のための空中散布再開の請願	趣旨採択	25	7
請願第12号	北山山系(弥山山地)における松枯れ・斜面防災にかかわる請願	趣旨採択	25	7
陳情第 9号	新内藤川・午頭川改修計画の抜本的見直しについての陳情	継続審査	31	1
陳情第10号	浜山の松枯れ防除対策早期実施についての陳情	採 択	32	0
意見書第6号	子ども手当の地方負担撤廃を求める意見書	原案可決	28	4

議会活動 (1月～3月に開催された会議)

- | | | | |
|----------|---|----------|--|
| 1月 5日(水) | 広報委員会 | 2月21日(月) | 議会運営委員会
全員協議会 |
| 7日(金) | 広報委員会 | 3月 2日(水) | 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会と新内
藤川・赤川対策協議会との合同勉強会
文教厚生委員会協議会 |
| 12日(水) | 新内藤川・赤川対策協議会県知事要望 | 7日(月) | 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会協議会
広報委員会 |
| 28日(金) | 議会運営委員会
全員協議会
総務委員会と出雲市消防団との意見交換会 | 8日(火) | 総合交通対策特別委員会
森林・林産業対策協議会 |
| 31日(月) | 平成22年度第4回臨時市議会
議会運営委員会
建設水道委員会協議会 | 9日(水) | 理事会
文教厚生委員会協議会 |
| 2月 1日(火) | 文教厚生委員会協議会 | 16日(水) | 理事会 |
| 3日(木) | 全国市議会議長会 基地協議会 第74回総会 | 22日(火) | 議会運営委員会
大社立久恵線対策協議会 |
| 8日(火) | 観光産業振興特別委員会 | 23日(水) | 全員協議会 |
| 9日(水) | 全国市議会議長会 第90回評議員会 | 25日(金) | ICT活用調査研究会 |
| 14日(月) | 議会運営委員会 | 30日(水) | 全員協議会 |
| 15日(火) | 中国市議会議長会支部長市事務局長会議 | | |
| 17日(木) | 理事会 | | |
| 21日(月) | } 平成22年度第5回3月定例会市議会 | | |
| } | | | |
| 3月23日(水) | | | |

編集後記

三月定例議會は、平成二十三年度市政に対する市長の所信表明を受け、新年度の主要事業や予算案件などを審議し、三月二十三日にすべての案件を可決しました。

この会期中の三月十一日に「東日本大震災」が発生しました。地震、津波の被害に加え、福島第一原発事故は、レベリングという深刻な事態に至っています。全国民が被災地の皆様と痛みを共にし、一刻も早い復旧・復興を願っています。

身近に原発を抱える本市は、市と議会が一体となつて、島根原発（松江市鹿島町）の運転条件について、一層の安全確保のため代替電源の確保や浸水防止など早急に対策を講じるよう中国電力に求めています。

私たちは、この震災を契機に、災害に備える個人のあり方や社会のあり方について、改めて考えなければならぬと思います。

(狩野正文記)

平成23年度 第1回臨時会

5月31日(火)・6月1日(水)

第2回定例会

- | | | | |
|----------|--------------------------|----------|------------------|
| 6月14日(火) | 本會議(開会、議案上程・説明) | 6月27日(月) | 環境経済委員会 |
| 17日(金) | 本會議(一般質問・1日目) | 28日(火) | 建設水道委員会 |
| 20日(月) | 本會議(一般質問・2日目) | 29日(水) | 予算特別委員会 |
| 21日(火) | 本會議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託) | 30日(木) | 予算特別委員会 |
| 23日(木) | 総務委員会 | 7月 4日(月) | 本會議 |
| 24日(金) | 文教厚生委員会 | | (委員長報告、討論、採決、閉会) |

東日本大震災へ義援金

出雲市議会では、東日本大震災の義援金として、議員の拠出により百万円を日本赤十字社に送りました。

広報委員会

委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員 委員長

山代	坂根	古福	多久和康	勝部	直良	広戸	川上	山根	小村	狩野	飯塚	原
裕始	守	康雅	順子	昌幸	恭一	幸博	貞守	吉一	正文	俊之	隆利	

議会に関してのお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/>
出雲市ホームページの中の **出雲市議会** をクリック
メール : gikai@city.izumo.shimane.jp